

## 道路アセットマネジメントプラットフォーム 国内支援委員会 設立趣旨

JICA では現在、約 20 ヶ国で道路インフラの維持管理能力強化に関する技術協力プロジェクトを実施、開発途上国の道路行政を担う中核的な人材の育成を幅広く展開しており、今後の道路アセットマネジメントへの支援は、中長期的にわたって取り組むべき課題と位置付けている。

こうした状況下、JICA は 2017 年 10 月に道路アセットマネジメントプラットフォームを立上げ、道路アセットマネジメントに関する国及び高速道路会社等の国内最先端の取組から地方自治体の地域的な取組までを一元的に網羅し、開発途上国の課題へ柔軟に対応を可能とするための体制を構築した。

本プラットフォームの活動を適切かつ効率的に推進するため、その実施・検討内容について専門的かつ技術的見地からの助言を行うことを目的として、「道路アセットマネジメントプラットフォーム国内支援委員会」を設立する。

### 【参考】道路アセットマネジメントプラットフォームについて

#### 1. 活動目標

開発途上国における道路インフラ維持管理の課題解決に向け、国内外の知見を集約し、「2. 主な活動内容」の取組を通じて開発途上国での道路アセットマネジメントの定着を行う。

#### 2. 主な活動内容

##### 2. 1 道路インフラ維持管理に係る技術協力プロジェクトに関するもの

- ①開発途上国支援にて作成した道路橋梁維持管理マニュアル類の整理・体系化
- ②道路インフラの点検・診断・補修技術の海外実装に関する支援
- ③開発途上国における産官学連携体制の構築支援
- ④開発途上国における道路アセットマネジメント定着に係る評価手法の検討

##### 2. 2 道路交通分野研修事業に関するもの

- ①道路分野課題別研修（以下「課題別研修」。）の体系化、カリキュラム骨子に係る検討
- ②道路アセットマネジメント長期研修員（以下「長期研修員」。）の受入に関する調整、受入中の学びの機会（特別プログラム、留学生セミナー、インターンシップ・課題別研修への参加等）の提供
- ③研修員に対する帰国後の活動モニタリング及びフォローアップ

##### 2. 3 その他の活動に関するもの

- ①民間企業・大学等との点検・診断、補修技術の海外展開やインターンシップ受入に関する意見交換
- ②国・地方自治体の道路アセットマネジメントに関する取組及び知見の収集

### 3. 道路アセットマネジメントプラットフォーム構成メンバー

- ①国土交通省
- ②地方自治体
- ③土木学会
- ④日本アセットマネジメント協会
- ⑤大学